

スポーツ庁 御中

第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム
『スポーツ文化ツーリズムアワード2019 表彰式』

掲載報告書
2020.3.11




ADKマーケティング・ソリューションズ



プレスリリース

【取材案内状】 12月12日配信 (1/2)

【ご取材案内状】
報道関係者各位



2019年12月12日

スポーツ庁、文化庁、観光庁の3庁が連携し、新たな地域振興とインバウンド活性化施策を考える「第4回 スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」

「スポーツ文化ツーリズムアワード2019 表彰式」

- ◆日時：2020年1月15日(水) 13:00～(報道受付：12:30～)
- ◆場所：金沢市文化ホール(石川県金沢市高岡町15-1)
- ◆出席者：スポーツ庁長官 鈴木大地、文化庁長官 宮田亮平、観光庁長官 田端浩ほか

スポーツ庁、文化庁及び観光庁(以下、3庁)では、3庁の政策連携による相乗効果によって、新たに生まれる地域ブランドや日本ブランドを確立・発信し、訪日外国人観光客の増加や、国内観光の活性化を図るため、「スポーツ文化ツーリズム」を推進しています。

この度、「スポーツ文化ツーリズムアワード2019」が決定し、「第4回 スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」プログラム内で表彰式が実施されることとなりました。本シンポジウムは「スポーツ文化×観光×観光」の連携を全国に展開するため、初めて地方で開催されるもので、2020年1月15日(水)13:00より金沢市文化ホールにて開催されます。

「スポーツ文化ツーリズムアワード」は、3庁が平成28年3月にスポーツ×文化×観光による新たな地域振興を図るため、包括的連携協定を締結したことから誕生したアワードで、今回で4回目となります。表彰式では、スポーツ庁長官 鈴木大地、文化庁長官 宮田亮平、観光庁長官 田端 浩がプレゼンターを務めます。表彰式の前には、3庁長官が3庁連携による、新しいスポーツ文化の未来「等々」をテーマにトークセッションを行います。その他にも、スポーツ文化ツーリズムインバウンド×地域活性化に向けた3名の有識者による「懇談会・テーマ講演」や、「スポーツ文化を融合させた新たな観光プログラムを生み出すこと」を目指して、地元大学生参加の「ワークショップ」も開催します。

報道関係者の皆様におかれましては、ご多忙のところ大変お苦しいかと存じますが、是非ご取材をご検討いただけますようお願い申し上げます。【第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム】の開催概要等は次頁からとなります。

【スポーツ文化ツーリズムアワード2019】

- ◆ **スポーツ文化ツーリズム賞 入賞**

【栃木県】
日光国立公園マウンテントラッキング大会(日光トレイルランニング実行委員会)
【東京都・全国】
剣道体験ツアー「SAMURAI TRIP」(剣道体験ツアー-SAMURAI TRIP(運営:株式会社バークフォーアス))

- ◆ **スポーツツーリズム賞 入賞**

【新潟県】
新潟県観光大会(小出售まつり実行委員会)
【石川県】
白山トレイル(白山トレイル実行委員会)

- ◆ **文化ツーリズム賞 入賞**

【三重県】
忍びの里「伊賀」ならではの本物の忍び心「忍び」を体験できる体験プログラム「忍びの里 伊賀(衛生プロジェクト会議)」
【全国】
「あくる、たべる、つか」JONSEN・ガストロ・ツーリズムで地域を元気に!
(一般社団法人ONSEN・ガストロ・ツーリズム推進機構)

開催概要

- ◆ 行事名称：第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム～スポーツ文化ツーリズムアワード2019表彰式～
- ◆ 主催：スポーツ庁、文化庁及び観光庁
- ◆ 日時：2020年1月15日(水) 13:00～18:00(予定) ※11:00開場
- ◆ 入場者：事前申込制(シンポジウム800名、ワークショップ30名予定) ※入場料無料
- ◆ 会場：金沢市文化ホール(石川県金沢市高岡町15-1)
(展示は会議棟1Fキャブロー、ワークショップは会議棟3F大会議室にて実施)
- ◆ 内容：各地のスポーツや文化芸術の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人観光客の増加や国内観光の活性化を図るための三庁の連携推進の取組として、「スポーツ文化ツーリズム」を推進しています。この度、「スポーツ文化ツーリズム」の定着を図り、その意義を広げ発信するため、金沢市でシンポジウムを開催します。また、シンポジウムの中で「スポーツ文化ツーリズムアワード2019」の表彰式を行い、全国の優れた取組を発表します。

<当日プログラム>

時間	内容	出演者
13:00	オープニング 主催者挨拶、鈴木大地(スポーツ庁長官)、宮田亮平(文化庁長官)、田端浩(観光庁長官)	鈴木大地、宮田亮平、田端浩
13:30	第1回懇談会「スポーツ文化×観光の未来」 スポーツ文化×観光の未来について議論する。	鈴木大地、宮田亮平、田端浩
13:40	3庁長官トークセッション 3庁長官による3庁連携の現状と今後の展望について話し合う。	鈴木大地、宮田亮平、田端浩
14:00	表彰式 スポーツ文化ツーリズムアワード2019表彰式	プレゼンター：鈴木大地、宮田亮平、田端浩 司会：田端浩
14:45	スポーツ文化ツーリズムアワード2019 受賞発表と表彰式	プレゼンター：鈴木大地、宮田亮平、田端浩 司会：田端浩
15:00	トークセッション 「スポーツ文化×観光」の未来について議論する。	鈴木大地、宮田亮平、田端浩
16:40	閉会式 表彰式と懇談会を閉じる。	鈴木大地、宮田亮平、田端浩

<登壇者紹介>

表彰式・トークセッション

【スポーツ文化ツーリズムアワード2019】の発表式を行います。3庁長官による表彰式とトークセッションを行います。

【スポーツ文化ツーリズムアワード2019】は、各地のスポーツや文化芸術の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人観光客の増加や国内観光の活性化を図るための三庁の連携推進の取組として、「スポーツ文化ツーリズム」を推進しています。

表彰式の模様は、シンポジウム内の映像でも生中継し、3庁の連携の取組を広く発信していきます。【3庁連携】による、新しいスポーツ文化の未来「等々」をテーマにトークセッションを行います。【3庁連携】による、新しいスポーツ文化の未来「等々」をテーマにトークセッションを行います。

懇談会・テーマ講演

スポーツ文化ツーリズムインバウンド×地域活性化に向けて3名の有識者による、懇談会・テーマ講演を行います。

【3庁連携】による、新しいスポーツ文化の未来「等々」をテーマにトークセッションを行います。

【3庁連携】による、新しいスポーツ文化の未来「等々」をテーマにトークセッションを行います。

ご出欠返信用紙

FAX:03-5778-4747 / E-mail: frontier-pr@frontier-i.co.jp

※誠にお手数ではございますが、取材のご意向をご記入の上、**1月14日(火)15:00までに上記FAX 番号かメールアドレスへご連絡下さい**とお願い申し上げます。

- ◆ 日時：2020年1月15日(水) 11:00～17:50
- ◆ シンポジウム：13:00～
- ◆ 報道受付：12:30～
- ◆ 会場：金沢市文化ホール(石川県金沢市高岡町15-1)
- ◆ アクセス：JR金沢駅からアクセス
タクシー約10分、バス約15分

【バスのご案内】
金沢駅前(東口バスターミナル)
3番号～11番号(南町・尾山神社)下車 徒歩約3分
(※バスに搭乗する詳細については北越バスエクスプレス「サービスセンター」にてご確認ください。TEL:076-237-5115)

【小松空港からのアクセス】
空港連絡バスで金沢駅まで 約40分
金沢駅より左記路線バスに乗り換え 約15分

ご出席 チェック印をお付け下さい

開始予定時間	登壇者	アワード	ご出席予定の氏名(お名前を記入)
13:00～13:05	鈴木大地(スポーツ庁長官)、宮田亮平(文化庁長官)、田端浩(観光庁長官)	主催者挨拶	<input type="checkbox"/>
13:30～13:35	田端浩(観光庁長官)	第1回懇談会「スポーツ文化×観光の未来」	<input type="checkbox"/>
13:40～13:45	鈴木大地(スポーツ庁長官)、宮田亮平(文化庁長官)、田端浩(観光庁長官)	3庁長官トークセッション	<input type="checkbox"/>
14:00～14:05	田端浩(観光庁長官)	表彰式	<input type="checkbox"/>
14:45～14:50	鈴木大地(スポーツ庁長官)、宮田亮平(文化庁長官)、田端浩(観光庁長官)	スポーツ文化ツーリズムアワード2019表彰式	<input type="checkbox"/>
15:00～15:05	田端浩(観光庁長官)	トークセッション「スポーツ文化×観光」の未来について議論する。	<input type="checkbox"/>
16:40～16:45	田端浩(観光庁長官)	閉会式	<input type="checkbox"/>
17:30～17:35	田端浩(観光庁長官)	ワークショップ「スポーツ文化を融合させた新たな観光プログラムを生み出すこと」	<input type="checkbox"/>

氏名/所属名

貴社名

貴部署名

取材代表者名

取材者人数 内訳

ハシ 計 名

スチール 計 名

ENG 計 名

取材代表者 TEL / FAX

携帯番号

※ご記入いただきましたご連絡先等は、本事業に限りご活用させていただきます。他の目的は一切使用いたしません。

<本資料に関する報道関係者様からのお問合せ> PR&IRスポーツ文化ツーリズムシンポジウムPR事務局(フロントデスク)内
TEL:03-5778-4644 / FAX:03-5778-4747 / mail:frontier-pr@frontier-i.co.jp
郵局：札幌 管区 事務局 庶務 庶務の連絡先 ● 札幌事務局 TEL:011-8506-2230 ● 資料提供係 TEL:070-2192-8062

【取材案内状】 12月12日配信 (2/2)

《ご参考》スポーツ文化ツーリズムアワード2019【スポーツ文化ツーリズム賞 入賞】

スポーツ文化ツーリズムアワード2019
【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)
日光トレイルランニング実行委員会

日光国立公園マウンテンランニング大会



活動概要
日光国立公園の自然環境を活かした、毎年約10万人を集める人気大会。日光国立公園の自然環境を活かした、毎年約10万人を集める人気大会。日光国立公園の自然環境を活かした、毎年約10万人を集める人気大会。

詳細ポイント
● 日光の自然環境や国立公園の魅力を最大限に活用し、観光客と大衆の両方から支持される大会を開催している。
● 文化とスポーツの融合が、観光客の滞在体験を豊かにしている。
● 大会を通じて、日光の自然環境や国立公園の魅力を最大限に活用し、観光客と大衆の両方から支持される大会を開催している。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019
【スポーツ文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)
剣道体験ツアー-SAMURAI TRIP(運営:株式会社パークフォース)

剣道体験ツアー-SAMURAI TRIP



活動概要
剣道体験ツアー-SAMURAI TRIP(運営:株式会社パークフォース)は、観光客に剣道体験を提供している。剣道体験ツアー-SAMURAI TRIP(運営:株式会社パークフォース)は、観光客に剣道体験を提供している。

詳細ポイント
● 剣道の歴史や文化を最大限に活用し、観光客の滞在体験を豊かにしている。
● 剣道を通じて、日光の自然環境や国立公園の魅力を最大限に活用し、観光客と大衆の両方から支持される大会を開催している。

《ご参考》スポーツ文化ツーリズムアワード2019【文化ツーリズム賞 入賞】

スポーツ文化ツーリズムアワード2019
【文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)
「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議

忍びの里「伊賀」ならではの本物の忍びの「心技体」を体験できる体験プログラムづくり



活動概要
「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議は、忍びの里の魅力を最大限に活用し、観光客の滞在体験を豊かにしている。忍びの里「伊賀」創生プロジェクト会議は、忍びの里の魅力を最大限に活用し、観光客の滞在体験を豊かにしている。

詳細ポイント
● 忍びの里の魅力を最大限に活用し、観光客の滞在体験を豊かにしている。
● 忍びの里を通じて、日光の自然環境や国立公園の魅力を最大限に活用し、観光客と大衆の両方から支持される大会を開催している。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019
【文化ツーリズム賞】入賞

(申請団体)
一般社団法人ONSEN+ガストロノミーツーリズム推進機構

**「めぐる、たべる、つかる」
ONSEN+ガストロノミーツーリズムで地域を元気に！**



活動概要
一般社団法人ONSEN+ガストロノミーツーリズム推進機構は、観光客に温泉と食文化の魅力を最大限に活用し、観光客の滞在体験を豊かにしている。一般社団法人ONSEN+ガストロノミーツーリズム推進機構は、観光客に温泉と食文化の魅力を最大限に活用し、観光客の滞在体験を豊かにしている。

詳細ポイント
● 温泉と食文化の魅力を最大限に活用し、観光客の滞在体験を豊かにしている。
● 温泉と食文化を通じて、日光の自然環境や国立公園の魅力を最大限に活用し、観光客と大衆の両方から支持される大会を開催している。

《ご参考》スポーツ文化ツーリズムアワード2019【スポーツツーリズム賞 入賞】

スポーツ文化ツーリズムアワード2019
【スポーツツーリズム賞】入賞

(申請団体)
小出雪まつり実行委員会

魚沼国際雪合戦大会



活動概要
魚沼国際雪合戦大会は、観光客に雪合戦体験を提供している。魚沼国際雪合戦大会は、観光客に雪合戦体験を提供している。

詳細ポイント
● 雪合戦を通じて、日光の自然環境や国立公園の魅力を最大限に活用し、観光客と大衆の両方から支持される大会を開催している。

スポーツ文化ツーリズムアワード2019
【スポーツツーリズム賞】入賞

(申請団体)
白山ジोटレイル実行委員会

白山ジोटレイル



活動概要
白山ジोटレイルは、観光客に白山の魅力を最大限に活用し、観光客の滞在体験を豊かにしている。白山ジोटレイルは、観光客に白山の魅力を最大限に活用し、観光客の滞在体験を豊かにしている。

詳細ポイント
● 白山の魅力を最大限に活用し、観光客の滞在体験を豊かにしている。
● 白山を通じて、日光の自然環境や国立公園の魅力を最大限に活用し、観光客と大衆の両方から支持される大会を開催している。

【事後速報レポート】1月15日配信

PRESS RELEASE (事後速報レポート)
報道関係者 各位

2020年1月15日

スポーツ庁、文化庁、観光庁が連携し、
新たな地域振興とインバウンド活性化施策を考える「第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」
全国の事業・イベント事例から選ばれた6団体を表彰し、3庁の代表者によるトークセッション実施！
「スポーツ文化ツーリズムアワード2019表彰式」・「基調講演」・「テーマ講演」・「ワークショップ」
開催事後レポート

◆ スポーツ文化ツーリズム賞 入賞 ◆

栃木県 日光国立公園マウンテンランニング大会
東京都・全国 剣道体験ツアー「SAMURAI TRIP」

◆ スポーツツーリズム賞 入賞 ◆

新潟県 魚沼国際雪合戦大会
石川県 白山ジストレイル

◆ 文化ツーリズム賞 入賞 ◆

三重県 忍びの里「伊賀」ならではの本物の忍びの「心技体」を体験できる体験プログラムづくり
全国 「めぐる、たべる、つかる」ONSEN・ガストロ・ツーリズムで地域を元気に！

～ 表彰式では、スポーツ庁次長 瀧本寛、文化庁長官 宮田賢平、観光庁長官 田嶋浩が登壇。
3庁の代表者によるトークセッションや、スポーツ文化ツーリズム×インバウンドを題材にした基調講演・テーマ講演、ワークショップも開催されました。

スポーツ庁、文化庁、観光庁（以下、3庁）では、3庁の政策連携による相乗効果によって、新たに生まれる地域ブランドや日本ブランドを確立・発信し、訪日外国人観光客の増加や、国内観光の活性化を図るため、「スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」プログラムの中で、「スポーツ文化ツーリズムアワード2019表彰式」にて、全国の応募の中からスポーツ文化ツーリズム賞、スポーツツーリズム賞、文化ツーリズム賞入賞の、計6団体を表彰しました。

「スポーツ文化ツーリズム賞 入賞」では、栃木県の日光国立公園マウンテンランニング大会（日光トレイルランニング実行委員会）、東京都・全国の剣道体験ツアー「SAMURAI TRIP」（剣道体験ツアーSAMURAI TRIP「運営」株式会社ハークゲームス）」を表彰しました。「スポーツツーリズム賞 入賞」では、新潟県の魚沼国際雪合戦大会（小出雪まつり実行委員会）、石川県の白山ジストレイル（白山ジストレイル実行委員会）を表彰しました。「文化ツーリズム賞 入賞」では、三重県の忍びの里「伊賀」ならではの本物の忍びの「心技体」を体験できる体験プログラムづくり（「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議）、全国が「めぐる、たべる、つかる」ONSEN・ガストロ・ツーリズムで地域を元気に！（一般社団法人ONSEN・ガストロ・ツーリズム推進機構）を表彰しました。





表彰式（左から）「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議からの表彰状授与、魚沼国際雪合戦大会3庁代表者によるトークセッション、「スポーツ文化ツーリズムアワード2019表彰式」3庁代表者によるトークセッション

表彰式を皮切りにイベント「第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」は、国内の多彩な有識者をゲストに迎え、スポーツ文化×観光による新たな地域振興と、インバウンド活性化施策を考えるイベントです。第4回開催となる今年度は、表彰式のほか、3名の有識者とともに、地域のインバウンドを活性化するためには何が必要かを考える「基調講演」・「テーマ講演」を実施。その他に「スポーツ文化を融合させた新たな観光プログラムを生み出すこと」を目的として、地元の大学生参加の「ワークショップ」も開催し、今後の地域活性化に欠かせない活動の明確化を図りました。今後、様々な自治体や地方団体にて開発・発展していくことが予想される「スポーツ文化ツーリズム」にご注目ください。

開催概要

- 催事名称 : 第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム～スポーツ文化ツーリズムアワード2019表彰式～
- 主催 : スポーツ庁、文化庁及び観光庁
- 日時 : 2020年1月15日（水）13:00～18:00 ※11:00開場
- 入場者 : 事前申込制（シンポジウム800名、ワークショップ30名予定） ※入場料無料
- 会場 : 金沢市文化ホール（石川県金沢市高岡町1-11）
（場所は会場棟1F「イベント」ワークショップは会議棟3F大会議室にて実施）
- 内容 : 各地のスポーツ文化芸術の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人観光客の増加や国内観光の活性化を図るため、スポーツ文化ツーリズムをテーマとしたシンポジウムを開催。「スポーツ文化ツーリズムアワード2019」の表彰式、基調講演・テーマ講演、ワークショップを行いました。

<当日プログラム>

時間	内容
13:00	開場
13:00	基調講演「スポーツ文化を融合させた新たな観光プログラムを生み出すこと」
13:30	表彰式
14:00	トークセッション「スポーツ文化を融合させた新たな観光プログラムを生み出すこと」
14:30	ワークショップ「めぐる、たべる、つかる」
15:00	基調講演「スポーツ文化を融合させた新たな観光プログラムを生み出すこと」
15:30	表彰式
16:00	トークセッション「スポーツ文化を融合させた新たな観光プログラムを生み出すこと」
16:30	ワークショップ「めぐる、たべる、つかる」
17:00	閉会

<当日の様子：3庁代表者によるトークセッション>



スポーツ庁次長 瀧本寛、文化庁長官 宮田賢平、観光庁長官 田嶋浩

<当日の様子：3名の有識者による基調講演・テーマ講演>



早稲田大学スポーツ科学学術院教授 原田 潔 氏、株式会社Voyage1 執行役員 岩崎 哲夫 氏、株式会社愛知地球 代表取締役 山田 浩 氏

<本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先> 「第4回スポーツ文化ツーリズムシンポジウム」PR事務局
TEL: 03-5778-4844 / FAX: 03-5778-4747 / mail: frontier-pr@frontierci.co.jp/担当: 馬場(080-5006-7239)、菅原、千賀

表彰式及びプレゼンテーション

スポーツ文化ツーリズムアワード2019の表彰式と各受賞団体のプレゼンテーションの中で、受賞団体の喜びの声、地域への想いを語っていただきました。

【受賞団体コメント】

<当日の様子：表彰式> <当日の様子：プレゼンテーション>

日光トレイルランニング実行委員会（スポーツ文化ツーリズム賞入賞）
今回の受賞を大変嬉しく思っています。当イベントは、世界遺産である日光の歴史・文化×国立公園の自然×トレイルランを様々な楽しみを併せ持つ魅力。今後はエリアを東日光まで広げ100kmコースの実現にもチャレンジしながら、内容を充実させ、外国人をはじめ参加者を増やしていきたい。

剣道体験ツアー「SAMURAI TRIP」（スポーツツーリズム賞入賞）
国の機関から認められて、大変嬉しい。当事業は、すでに36ヶ国・年間約2000人を受け入れており、ビジネスとしてもしっかりと自主できている。今後も更なる拡大力を入れて頑張っていきたい。

小出雪まつり実行委員会（スポーツツーリズム賞入賞）
“雪合戦”は誰でも簡単に参加することができる。これを軸にスキーイベントと連携したり、コシヒカリや地酒をはじめとした地元グルメも楽しめるように展開しており、大人から子どもまで男女問わず盛り上がりつつある。31回の開催を数える本イベントの知名度を、より一層高めながら、100回続くようなコンテンツにしていきたい。

白山ジストレイル実行委員会（スポーツツーリズム賞入賞）
協賛企業様からの紹介で応募したところ、まさか自分たちが受賞できるとは思っており、大変嬉しい。当イベントは白山麓を盛り上げようという取り組みがやられているが、今後は世界中のステアーズと連携することも考えている。外国人観光客を誘致し、一層盛り上げていきたい。

「忍びの里 伊賀」創生プロジェクト会議（文化ツーリズム賞入賞）
当プログラムは、数ある忍者体験コンテンツの中でも、日本遺産である伊賀エリアだからこそ創り出せる“本物感”にこだわっている。今後は、より一層地域住民を巻き込み内容を拡充しながら盛り上げていくことで、海外に向けた情報発信に注力していきたい。

一般社団法人ONSEN・ガストロ・ツーリズム推進機構（文化ツーリズム賞入賞）
このような賞をいただき大変光栄。当事業は、“めぐる、たべる、つかる”といった誰もが幸せになるプログラムを通じて地域の魅力を堪能できる取り組み。今後は台湾での開催を予定するなど、海外に向けた情報発信を行っていく予定です。

当日出席メディアリスト

【当日出席メディアリスト】 29名 19媒体

【スポーツ文化ツーリズムアワード2019 表彰式】 当日出席メディアリスト										
					ペン	9	名			
					スチール	9	名			
					ENGクルー ※ハンディ含む	11	名			
					カメラ台数	4	台			
					合計	29	名	19	媒体	
NO.	カテゴリー	番組・媒体名	会社名	部署名	代表者名	ペン	スチール	ENGクルー	人数	備考
1	テレビ	かがのトイブニング	NHK金沢	放送部		0	0	3	3	カメラ1台
2	テレビ	ー	テレビ金沢	報道部		0	0	1	1	カメラ1台
3	テレビ	ー	北陸朝日放送	報道制作部		0	0	3	3	カメラ1台
4	テレビ	レオスタ	北陸放送	報道部		0	0	3	3	カメラ1台
5	通信社	47NEWS	共同通信社 金沢支局	ー		1	0	0	1	
6	通信社	ー	時事通信社 金沢支局	ー		1	0	0	1	
7	全国紙	朝日新聞	朝日新聞社 金沢総局	ー		0	1	0	1	
8	全国紙	毎日新聞	毎日新聞社 北陸総局	ー		1	0	0	1	表彰式から出席
9	全国紙	読売新聞	読売新聞社	ー		1	0	0	1	
10	全国紙	日本経済新聞	日本経済新聞社 金沢支局	ー		1	0	0	1	
11	スポーツ紙	スポーツニッポン	スポーツニッポン新聞社	スタートアップビジネス推進室		0	1	0	1	
12	地方紙	北國新聞	北國新聞社	社会部		1	1	0	2	
13	地方紙	北陸中日新聞	中日新聞社 北陸本社	報道部		1	1	0	2	
14	工業・産業紙	建設工業新聞	北陸工業新聞社	編集部		0	1	0	1	
15	地域情報誌	月刊北國アクタス	北國新聞社	出版部		1	1	0	2	
16	地域情報誌	加能人	加能人社	編集部		0	0	1	1	
17	専門紙誌	世界日報	世界日報社 金沢支局	ー		0	1	0	1	
18	フリーペーパー	金沢情報	カラフルカンパニー	メディアプロデュース部		1	1	0	2	表彰式のみ出席
19	その他	ー	北陸大学	広報部		0	1	0	1	
計						9	9	11	29	
【欠席】										
NO.	カテゴリー	番組・媒体名	会社名	部署名	代表者名					
1	通信社	ー	共同通信社	運動部						
【事後掲載フォロー調整メディア】										
NO.	カテゴリー	番組・媒体名	会社名	部署名	担当者名					
1	テレビ	MTV三重テレビ放送	三重テレビ放送	報道部						
2	全国紙	朝日新聞	朝日新聞社 伊賀支局	ー						
3	全国紙	読売新聞	読売新聞社 伊賀上野支局	ー						
4	地方紙	中日新聞	中日新聞社 伊賀支局	ー						

■出席メディア数の比較（過去含め3年間）

2017年 ⇒ 2018年 ⇒ 2019年
 21媒体、25名 ⇒ 18媒体、22名 ⇒ 19媒体、29名

【スポーツ文化ツーリズムアワード2018 表彰式】 出席メディア一覧

2019/1/24

18媒体	22	人
ペン	5	人
フォト	13	人
カメラ（※ハンディ含む）	2	台
ENGスタッフ	4	人

■表彰式 出席予定メディア

カテゴリー	番組・媒体名	会社名・部署名	代表者名	人数	ペン	フォト	ENGクルー	備考
1	テレビ NHK	報道局社会部		1	1	-	-	
2	テレビ ニュース全般	日本テレビ 報道局社会部		2	1	-	2	
3	テレビ 新 窓をあけて九州	OBS大分放送		2	-	-	2	
4	通信社 -	共同通信社 地域報道部		2	1	1	-	
5	通信社 共同通信	共同通信社 編集局 運動部		1	-	1	-	
6	全国紙 朝日新聞	朝日新聞社 スポーツ部		1	-	1	-	
7	全国紙 読売新聞	読売新聞東京本社 ビジネス推進室		1	-	1	-	
8	地方紙 信濃毎日新聞	信濃毎日新聞社 東京支社報道部		1	-	1	-	
9	地方紙 大分合同新聞	大分合同新聞社 東京支社編集部		1	-	1	-	
10	スポーツ紙	日刊スポーツ社 編集局 東京五輪パラリンピック・スポーツ部		1	-	-	-	
11	専門誌紙 日経グローバル	日本経済新聞社		1	-	1	-	
12	専門誌紙 世界日報	世界日報社 編集局社会部		1	-	1	-	
13	専門誌紙 週刊文教ニュース	文教ニュース社		1	-	1	-	
14	専門誌紙 社会教育	一般社団法人日本青年館 交易事業部 編集部		2	2	-	-	
15	業界誌紙 旬刊 旅行新聞	旅行新聞新社 編集部		1	-	1	-	
16	業界誌紙 交通新聞	交通新聞社		1	-	1	-	
17	WEB Health Brain	朝日ランド		1	-	1	-	
18	広報紙 オートキャンプ	一般社団法人日本オートキャンプ協会 業務部		1	-	1	-	
計				22	5	13	4	

■欠席媒体

カテゴリー	媒体名/部署名	会社名	代表者名	備考
1	テレビ 香港フェニックステレビニュース番組	香港フェニックステレビ 東京支局		
2	通信社 -	時事通信社 内政部		
3	地方紙 北海道新聞	北海道新聞社 東京報道センター		
4	専門誌紙 週刊ホテルレストラン	朝日タブアブレイションズ 編集部		

広告換算

『2019年度』

露出件数・広告換算額

TV …4件 ¥3,247,399

新聞 …38件 ¥42,451,990

WEB …91件 ¥49,599,725

総額 ¥95,299,114

『2018年度』

露出件数・広告換算額

TV	2件	¥ 3,311,838-
新聞	13件	¥ 6,609,937-
雑誌・フリーペーパー	2件	¥ 3,500,000-
WEB	87件	¥ 23,102,602-

総額 ¥36,524,377

※昨年度比較で、TV・新聞とも大きく件数が増加！

※掲載件数・露出換算とも、昨年度よりも増加！

(露出換算は、換算数値がモニター会社・年度により異なりますので、参考数字となります。)